

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成27年7月 後援会事務局発行 市政だより

六月定例会



市政改革4期目に！ これからも確実な成果の実現を

「無所属の会」を新たに結成

選挙が終わって多くの議員の入れ替えがありました。私は9人の無所属議員の中で考え方や志の近い5人とともに新しい会派「無所属の会」結成に参加しました。メンバーは福岡正輝、大町裕次、北之坊晋次、神原宏一朗、松岡信道の各議員で会派からは副議長を出しています。

私自身は保守系の市民派無所属議員としてこれまで同様、浅利市政に対しては是々非々の立場で対応してまいります。

実績と今後の取り組み

❖ 行財政改革の更なる取り組みと継続…

限られた財源で市民福祉の充実を図るには税の無駄遣いと効率的市政運営が大切(生活保護の不正受給や悪質な不払いの防止策) ⇒ 高コスト体質を改め市民サービス向上となる民間委託を更に進めます。(ごみ収集、保育・幼児教育など)

❖ 税収確保に企業誘致や人口減対策…

企業誘致条例の制定を実現させましたが

更なる誘致と産業振興策への取り組み ⇒ (高付加価値企業や研究開発型企业も視野に)

❖ 住宅環境都市の魅力

住んでみたい豊中(千里)の魅力アップに引き続き取り組み「空き家条例」制定を目指します。(過密密集除却費補助は実現)

❖ 大阪国際空港の近距離国際便

コンセッション(運営権売却)実施後の沖縄、北海道への増便とアジア諸国への国際便の復活を目指します。

❖ 子供を安心して生み育てる施策の充実と女性政策の推進

(待機児童の解消と医療費助成の拡充、意欲と能力ある女性の積極活用と支援)

❖ 真の教育文化都市実現へ

小中一貫教育や一部選択制の実施とともに公教育の信頼回復への取り組み。(特に千里地区周辺の公立離れに歯止めを！)



「無所属の会」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL 6858-2620 (直通) FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C27-1109
TEL 6833-7705

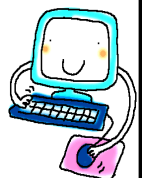
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

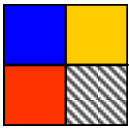
福岡正輝 ホームページもごらんください

<http://www.fukuokamasaki.com>

ヤフー、グーグルで「福岡まさき」を検索してお入りください。

日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。





【福岡まさき】

活動日記

豊中市議会の会派勢力は…

今回の選挙で多くの議員が入れ替わり36名中9名が新人議員となりました。政党会派別では公明党9名(25%)、共産党6名(17%)、自民新風会6名(17%)、無所属の会5名(14%)、大阪維新の会4名(11%)、市民クラブ3名(8%)、所属なし3名となっています。(小数点以下は四捨五入)

先日、正副議長の呼びかけで親睦を図るための会が行われました。議員それぞれの思想や信条に違いはありますが、市政に対する熱い思いは大いに期待したいと思います。市民の皆様には、投票で責任を果たしたのではなく、その後の政治活動や行動、実績に注目と関心を持ち続けて頂くようお願いいたします。

児童養護施設の誘致が実現

議員になって以来、多くの相談者から保護者のいない児童や保護者に監督保護させられないケースについて相談を受けました。しかし、豊中市内にはこうした子どもたちを受け入れる施設がなく近隣市の施設にお願いしてきました。

今回、豊中市では旧法務局跡地に民設民営方式による児童養護施設と障害(知的障害)を持った子どもの「親なき後」の生活サポートをする施設を併設し建設します。平成27年度中に事業者募集と決定を行い、28年建設、29年度に開所し、施設を活用した子育て・子育て支援事業を始めます。議員になって以来取り組んできた問題の一つに見通しが立ったことは非常に喜ばしくうれしく感じます。これまで応援いただいた皆様方に心よりお礼申し上げます。

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「無所属の会」の一員として日々活動しています。

「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

「こぼれび通り」を快適散歩道に

千里中央商業地区から中央公園に至る「こぼれび通り」は地域住民のみならず、多くの市民に愛される「快適歩道」として高い評価を受けています。商業地域の喧騒を逃れこの通りに入ると、初夏には菖蒲の花で彩られる長谷池。冬には渡り鳥、「こぼれび通り」には街路樹や竹林、アジサイの花も道行く人を和ませ癒してくれます。また、安心・安全については府内でも数少ないスーパー防犯灯も設置され人々を見守っています。

また、快適歩道の「こぼれび通り」は多くの方の努力によってその魅力が維持されています。定期的実施する長谷池やアドプトロードでの地域清掃活動、「千里竹の会」による日常的な竹林整備、「アジサイを咲かせる会」による植樹や維持管理などがあります。先日もこの季節に行われるイベントに多くの方が参加されました。様々な思いや考えからアジサイの里親として自ら植樹し、見守り育てていただいている多くの方々に心から感謝するものです。地域の環境整備や美化活動

は役所だけに頼るのではなく、それぞれが出来る役割を少しずつ分担することで大きな力となります。





「いろいろブログ」



上新田地区の「まちづくり」

400年前のニュータウン「上新田地区」へ入ると現在のニュータウンのたたずまいとは全く別世界の感覚だ。天神社の鎮守の森や家紋の入った白壁の住宅、府指定文化財でもある旧新田小学校も健在。

守らねばならない文化や伝統も多く、「まちづくり」は生活の利便性改善とセットでの協力体制が必要だ。

これまでこの趣旨に沿って市への要望や調整に取り組んできたのが地元出身の中蔵元議長だ。12年間ともに仕事をしてきたが、その熱心さと実績の数々には一目置いてきた。千里ニュータウンの「まちづくり」に取り組んできた私としては良き先輩でもありライバルでもあった。

今回、引退され後継として指名された私に、荷は重いかもしれないが千里の心のよりどころとなる上新田地区の「まちづくり」に最大限の協力と努力を傾注したいと考えている。

「千里橋」の耐震とビル風対策

千里中央から新千里西町にぬける主要な歩行者通行道路に千里橋があります。今回、耐震補強設計のための地盤調査を実施しますが、橋の東側には52階建ての超高層マンションの建設が予定されています。私がかねてから千里橋の耐震補強(場合によっては建替え)を急ぐよう取り組んできましたが、超高層マンションの真下にある千里橋のビル風対策についても十分な調査と対策を講じるよう要請しています。更に、この道は全体的に照度が低く、その改善と防犯カメラの設置も視野に入れた安心・安全対策の検討が必要だと考えています。



・その他には…

- ※ 本会議質問から I、II、III
- ※ 三つの総会に出席しました
(千里竹の会、防犯東丘支部、千里市民フォーラム)
- ※ しばらくぶりのブログです

「地域自治」は市民力の証明！

「地域自治システム」とは

平成24年4月から始まった「地域自治システム」は複雑・多様化する地域の課題を地域の総力と役所の支援を得て解決し、地域の活性化や次世代の人財育成、住民主導のまちづくりを主な目的としています。

既存の団体との関係は

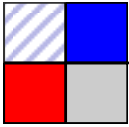
地域には自治会や公民分館、校区福祉や防犯、PTAや老人会など様々な団体がそれぞれの目的をもって活動しています。各種団体は地域自治と連携協力しながらより効果的な活動に結び付けることが目的であり、各団体間の関係は対等のものです。

その必要性は

各団体と住民との関係では、子育て世帯はPTAや健全育成、高齢世帯は老人会や校区福祉など、人は年齢や家族構成、関心の度合いによって様々な団体と濃淡を持った関わりがあります。特定の団体のみで活動するより、まち全体の理解と協力があればより効果的で「地域自治」はそうしたことを可能ならしめるシステムだと考えます。

具体的な取り組みと成果は

全体的な問題では具体的な成果に限界のあったこれまでと違い、地域を網羅する「地域自治システム」ができたことで環境、安心・安全、「まちづくり」など様々な問題に民主的な地域の意思表示が可能で、公園や歩道の整備、自主防災、地区会館建替えなど様々な課題解決に地域としての意思表示と活動出来る事が大切です。



… 6月定例会個人質問から …

「桃山台駅バリアフリー化」遅れの原因！

平成12年施行の「交通バリアフリー法」により市内の駅とその周辺について豊中市は着実な実施に取り組んできました。現在、未整備なのは蛍池駅前国道176号線沿いの視覚障がい者誘導ブロック(国が実施義務者)と桃山台駅西のエレベーター設置(吹田市実施分)が未整備となっています。このため視覚障がい者や高齢者、妊婦の方々に多大な不安とご迷惑をかけています。これまで豊中市を通じて設置義務者に働きかけましたが未だ実現していません。

桃山台駅西については設置義務者が吹田市ですが、利用者の多くが豊中市民ため積極的な姿勢に乏しい。また、設置個所の地権者が大阪府タウン管理財団で、出来るだけ高く売却したいなど双方の思惑があるのも事実です。

しかし、バリアフリー法の考え方からするとこれら当事者の思惑や結果としての未整備状態は決して市民、府民の理解を得られるものではありません。私自身は国会議員や府会議員とも連携し働きかけを強くしています。特に吹田市に対しては逆のケース(設置義務者が豊中市で利用者が吹田市民)では私自身の取り組みと豊中市の英断により実現させてきたことを根拠に最大限の努力を吹田市に要請しています。

急がれる空き家対策への取り組み

少子・高齢化が進む中で、空き家の多さが社会問題となっています。豊中市においても約15%が空き家でその対策が急がれます。

この問題解決に市は、官民協働で取り組みますが問題は「老朽危険家屋問題」をどのように解決していくかということになります。市は職権による調査能力を発揮することで、ノウハウと実績を持つ民間との協力が不可欠だと考えています。更に私からは「空き家条例」を制定し、限度を超えた老朽危険家屋への強制執行権と固定資産税の優遇措置の廃止を要請しています。

ジェネリック医薬品使用率アップを

患者負担の軽減と総医療費抑制を実現し、余裕の財源で市民福祉の向上をはかる一つの手段がジェネリック医薬品の使用率向上です。10年前からこの問題に取り組み成果を上げてきました。今議会で取り上げたのは、市立豊中病院や国民健康保険利用者が着実に成果を上げている半面、生活保護受給者の薬価ベースでの改善が進んでいません。医療費が無料、治療費の回収が確実など巷間言われる理由なら至急、改善に取り組むよう要請。市からは「今やるべき改革」を着実に前進させるとの答弁と決意表明がありました。

・・言いたい放題・・

ギリシャ問題が深刻さを増してきた。そもそも事の発端は「うそと優遇」から始まったと言われている。まずEC(EUの前身)加盟時に申請した赤字額2兆円が実は38兆円だったこと。もう一つは公務員の数と給料の高さ、年金の高さだ。公務員の数は働く人の4人に1人、給料は一般人の3倍だと言われている。

EU加盟の信用で得た借金(ユーロ国債)を将来も考えずに浪費する利他的な楽観主義こそが問題だ。ギリシャの年金支給は今でこそ61歳だがかつては55歳。現在ドイツが財政支援しているがドイツの年金は遅い人では69歳

支給の方もいるという。ドイツ人はギリシャ人を養うために高齢まで働いているという不満が出るのも当たり前。この期に及んで財政支援を止めれば大変なことになるぞ、とのギリシャ首相の居直りと脅しは笑い話にもならない。

翻ってわが国にとってこの話は全く別世界の話だろうか。国の借金は1000兆円を超えその利払いだけでも大変だ。少子化と高齢化の中で人口減少社会に突入し国の富も劣化する。しかも大規模災害はいつ来るかわからない。

この国の救いは努力と工夫、勤勉な国民性と恥の文化だ。ギリシャの現実を他山の石とし、今やれる改革を痛みがあっても確実にやり遂げるタフな精神力と我慢こそが大切だ。